

留学体験記

高校 普通科 23組 Y. F



私はアメリカのカリフォルニア州のサクラメント市に交換留学生として派遣され、一年間留学をしました。

私は公立の **Mira Loma** 高校に通いました。授業は生徒自身がカウンセラーと相談し、1日6コマの教科を選択します。ほとんどの生徒は一年間毎日、その選択した教科の授業を受けることになります。**Mira Loma** 高校の特徴として印象に残っているのは白人や黒人の他にインド系や中国系など外国系アメリカ人が多かったことです。私はそこで出会った人々と、数え切れないほどの素晴らしい思い出を作ることができました。特に合唱クラスでは、英語が拙く上手く歌えない僕をクラスのみんなが励まし、上手く歌えた時には **Good job Yukiya!!** と応援してくれました。先生も真剣に僕に向き合ってくれてコンサートではソロの機会を与えてくださり、僕もそれに応えるように頑張りました。数学のクラスでは先生に授業でわからなかったところをランチタイムに何十回も聞きに行きましたが、先生はいつも丁寧に答えてくださり、友達も一緒に問題を解こうと協力してくれました。

そんな心の温かい友達に、感謝の気持ちをどうしても伝えたく、そして、もっと親しくなりたかったので、いつでも笑顔で友達に **Hey!** と声を掛けました。話したことのない人にも積極的に話しかけるうちに、友だちも増え、英語も着実に上達していきました。またア

メロカへの留学でしか得られないと感じたことは、イランやイラク、アフガニスタン、ウクライナなどの国から移住してきた高校生と交流出来たことです。私たちは英語のクラスで一緒だったので、勉強していくうちに仲良くなっていきました。彼らの多くは、祖国の内紛による混乱などで祖国にいても未来の希望が持てないなどの理由から、新たな生活を築くためにアメリカ移住を決断しており、彼らは私とは全く違うシビアな環境で努力しているのを知り、私も生活を充実させねばと多くの刺激を受けました。

アメリカではホストファミリーに一年間お世話になりましたが、彼らの存在なくしては留学を語れないほどたくさんの優しさと愛をいただきました。本当に心から感謝しています。他にも一緒に多くの時を過ごした各国からの留学生との思い出など数え切れないほどありますが、本当に毎日が心ある方たちのおかげで充実していたと思います。この一年間の留学を通して“言語や食べ物、人種なんかどうでもいい、人と人との心の交流が何よりも大切だ”ということを実感してきました。この一年間を通してとても視野が広がったと思いますし、本当に留学して良かったです。もし、今、留学をするか迷っている人は、是非挑戦してみてください。語学力だけではなく他にも得るものが必ずあると思います。